

しもべ温泉女将だより

H27 9月号
No.11

南アルプスICからすぐ!

出張! 女将会 in 南アルプス完熟農園



今年6月にオープンした、南アルプス完熟農園に、8月6日、

女将会のメンバーで視察に行ってきました♪

産直ショップ「マルシェ」では、採れたての野菜[🌱]お果物[🍎]の他、
いも工房や地域素材のお惣菜、県内の名店和菓子、お米・お酒
ワインなどなど... 品数豊富に揃えられていました!

レストランは、自分が食べられるだけの量を取れる、ビュッフェスタイル。

食材を大事に、「相手を大切に思うところ」が
コンセプトなのが伝わる、素敵な時間
を味わうことができました😊



ゆとり女子トーク! 土・日・祝日には
イベントもあるそうです!
おげれなレストランで
フルーリーの秋、
リフレッシュ! 今年は南アルプス完熟農園も
要チェック!

待ちました! あけぼの大豆産地フェア!!



10月10日より、七会場で開催されます。身延町のブランド大豆を
収穫できるこの機会、「毎年恒例!」なあなたも、「今年ばかり
みようかな...?」なあなたも、是非会場へ是非[👉]GO!

🌞 予定日は各会場で異なります。オーナー制もあります。

詳しくはコチラ➡ 身延町商工会 TEL 0556-62-1103

そして冬には、あけぼの大豆を使った味噌づくり!

下部温泉に泊って、女将と一緒に美味しい味噌と思い出を作いませんか! ✨

防災について



源泉館 依田由有子

下部温泉では、東日本大震災後、台風の大きな被害や、身近での火災を目の当たりにするといった、これまでの何十年にはなかった経験をしました。

備えることは、もちろんのことですが、災害はどれ一つとして、同じパターンではやってきません。晴焼の時に自分だけではなく、お客様の命を守らなければならないということを、常々ココロしていかなければ〜と、思っています。

大黒屋 石部貴代

「今は色々な災害があって、備えもしないといけませんが、...最低限の物と緊急の時の流れだけは訓練しておきます。」



さのや 佐野ちづる

災害の中で私が一番怖いと思うのは火事です。湯町は建物が隣接しているので自分の家から火事を出したらと不安になります。そのため留守にする時はガス栓を何度も確認します。よし！と自分に言い聞かせ外出。そのため約束に遅刻する事もしばしば♪身近な教訓を生かしていますよ。

かがみゆ 小澤恭世

防災に対してあまり備えていないのですが、以前ある地区の公民館に防災用に備蓄してあった下部温泉の鉱泉水が5年たっても飲める状態だったと聞きました。そこで私の市川の家では、家族6人分の水を下部の鉱泉水で備蓄しています。

橋本屋 石部夏穂

我が家では、小さい赤ちゃんがまだいるため、何かがあった時のために、オムツは常に多めに常備しています。他には、枕元に、懐中電灯を置いて置く。飲料水の常備をしています。

数年前の台風や大雪で下部温泉も色々な被害が出て、そういった危機感や防災の意識は、以前より高まった気がします。

喜久屋 渡辺智子

3.11の大震災、その半年後の台風での避難、そして2年前の火事、その冬の記録的な大雪！何かが起こる度に防災対策の必要性を痛感しながら、喉元過ぎれば...保存食はいつの間にか期限切れ、取ずかしい限りです。せめて、隔離された場合の家族、そしてお客様の食料、水の確保だけはしておかなければ！

下部ホテル 向井資子

日頃から防災について常に意識をしなければいけないが、日常の忙しさの中で段々薄らいでいくのが事実です。毎年防災の日を迎えると、玄関に置いてある非常用の袋の中を開け、災害時に必要な物がしっかり用意されているのか、非常食の賞味期限の確認、電池の交換は必ずするようにしています。今日かもしれない、明日かもしれないという意識をもって生き延びる為の対策をしっかりと考えなければいけないと思います。

梅ぞの 遠藤史保美

地震 火事 台風...どれをとっても恐ろしいと思っています。今までゆっくりと積み重ねてきた1つ1つが一瞬で壊されていく、恐怖と怒り自然の脅威に対して無力な個人それでも生活を続けなければならない徒労感。分かっているのですが、備えがなかなかできていないのが現状です。

まず、お客様と家族の命の確保、これを最優先に考え行動したいと思っています。



ホテル守田 依田夏奈

何と言っても、ここ下部温泉は、**水の道筋もかかっている。避難場所も十分な広さがあり、安全な所というには、疑問です。**いざ、避難指示が出される場合など、その前に、自主的に避難する必要もあるかと思えます。お客様を誘導するのに、いつ何時も冷静な判断と行動が出来るようにふだんから心がけたいです。